

6世紀中～8世紀初までの主な出来事			
年	天皇	出来事	
528	継体	磐井の乱 527～に朝鮮半島南部へ出兵の大和朝廷軍を阻止 磐井の乱が528	唐・新羅の同盟
538	宣化	百濟より仏教が伝わる（一説には552年）	
554			百濟聖明王 新羅と戦って戦死
562	欽明	蘇我・物部両氏の対立など内政面でも大きな変動	任那日本府が新羅に滅亡 伽耶諸国滅亡
587		蘇我馬子 物部守屋を討伐 厩戸皇子が参戦 蘇我氏勝利	581隋の建国
592	崇峻	額田部皇女が即位し推古天皇になる	
593	推古	厩戸皇子 聖徳太子が摂政で国政に参加	
600		新羅・任那の戦 倭国は任那救援で出兵 第一回遣隋使派遣	新羅・任那の戦い
		倭国が帰国後、新羅は任那に攻め入る	
601		百濟に命じ、任那救援を命じる 新羅征伐は603年まで続く	断念
601		聖徳太子 斑鳩宮の建立	
604		聖徳太子 憲法十七条を制定	
607		第二回遣隋使派遣 小野妹子 法隆寺完成	
608		第三回遣隋使派遣 小野妹子 南淵請安	
610		第四回遣隋使派遣	611 隋の煬帝 第一次高句麗遠征
618		隋の滅亡 唐の建国	隋の滅亡 唐の建国 619 高句麗の唐に朝貢
620		「天皇記」「国記」聖徳太子・蘇我馬子 作成	
622		聖徳太子 没す	624高句麗・百濟・新羅 唐に朝貢
626		蘇我馬子 没す 蘇我蝦夷が大臣	
628		推古天皇 崩御	
629	舒明	舒明天皇即位	
631		百濟の王子豊璋が人質として来日	
641		舒明天皇 崩御 蘇我倉山田石川麻呂 山田寺建立	
642	皇極	皇極天皇 即位	1月 新羅 毗曇の乱 金春秋が平定 654 武烈王 後に三国統一の偉業
643		蘇我入鹿 山背大兄王を襲撃	644唐：新羅の要請で 高句麗（百濟と同盟）攻撃
645		乙巳の変 （中大兄皇子が中臣鎌足と蘇我氏を討つ） 蘇我蝦夷 自宅に放火死	
645	孝徳	「天皇記」「国記」が焼失 皇極天皇が弟の軽皇子に譲位 孝徳天皇 中大兄皇子が皇太子	
	大化	大化と年号を定める	
		吉野へ出家した古人大兄王（舒明天皇の第一皇子）を謀反の罪で討つ	
		難波長柄豊崎宮に遷都	
649	大化5	蘇我倉山田石川麻呂が謀反の疑いをかけられ自害 * 中大兄皇子の後・倭姫の父（古人大兄王（舒明天皇の第一皇子） * 中大兄皇子と遠智娘（蘇我倉山田石川麻呂）の娘が、 大田皇女（子に大伯皇女、大津皇子） 鸕野皇女（持統天皇）子に草壁皇子	
651	白雉	天皇は難波長柄豊崎宮に移る	
652		戸籍作成	
653		中大兄皇子 皇極上皇・大海人皇子 ・天皇妃で皇女の妹間人皇子と飛鳥河辺行宮に移る	
654		中臣鎌足に紫冠を授ける 孝徳天皇 難波で崩御	654 新羅の武烈王即位
655	齊明1	齊明天皇（皇極上皇）即位	655 唐 高句麗を攻撃
658	齊明4	孝徳天皇の子有馬皇子が謀反の疑いで捕えられ紀伊藤白坂で処刑	
660	齊明6	百濟が唐・新羅に滅ぼされる 齊明天皇が百濟救援に出るため難波宮に移る	百濟が唐・新羅に滅ぼされる

661	齊明7	齊明天皇が出発 天皇が朝倉橋広庭宮に移る	
661	齊明7	齊明天皇が朝倉宮で崩御（68歳），中大兄皇子が政治をとる	
661		百済の王子豊璋を百済再興のため送る	
662	天智	阿曇比羅夫が170隻で出兵，豊璋を百済の王とする	
663	天智	白村江で唐・新羅連合軍と戦い大敗する	倭軍 唐・新羅連合と白村江の戦い
664	天智3	筑紫の大野，基山，長門に城を築く	唐から郭務悰5月に来日し12月帰国
664	天智3	10月 郭務悰に帰国の詔	10月 高句麗の大臣淵蓋蘇文（蓋金）亡子の兄弟に争うな 668年高句麗亡ぶ
667		近江大津宮に遷都	
668	天智7	中大兄皇子が即位し天智天皇 倭姫王を皇后 大海人皇子を皇	唐・新羅連合が高句麗を滅亡
		大海人皇子が長槍を床に突き刺し天皇激怒するが中臣鎌足がお	新羅による朝鮮統一
		新羅使来朝 帰国に同行し新羅王に調物を持たせ遣新羅使を送る	
669	天智8	中臣鎌足に大織冠・大臣が授けられ藤原姓となる 藤原鎌足が没する	
		第6回遣唐使を派遣する	
670	天智9	庚午年籍をつくる 法隆寺が焼失する 高安城を造る 長門に一城、筑紫に二城築く	唐・新羅戦争～676 唐軍の駆逐
		9月 阿曇連頼垂（つらたり）新羅に使わす。	新羅に使者 新羅から使者
671	天智10	11月に唐から使者・郭務悰が捕虜など帰すため2000人到着	唐から郭務悰らが来日
		大友皇子が太政大臣 大海人皇子が出家し吉野へ行く	
		12月3日 天智天皇が大津宮で崩御 新羅の使者帰国	日本から新羅王の為に贈り物
672		唐の郭務悰は唐の国書を奉る 5月30日に帰国	唐の郭務悰は唐の国書を奉る 5月30日に帰国
		6月 大海人皇子が吉野を脱出し壬申の乱が起こる	
		7月 大友皇子が自害 大海人皇子の勝利	
		9月 大海人皇子が飛鳥嶋宮，岡本宮に入る 後飛鳥浄御原宮を造る	
673	天武2	大海人皇子が即位し天武天皇となる 鸕野皇女を皇后 大伯皇女を泊瀬の斎宮に置く	
675	天武4	4月 新羅から王子来日 7月大伴連国麻呂ら新羅に遣わす	675新羅王子使者 日本は新羅に派遣
676	天武5	新羅国半島統一	676 唐軍の駆逐で新羅国半島統一
		10月 物部連麻呂を新羅に遣わす	676 物部連麻呂を新羅に遣わす 使者行き交う
679	天武8	5月 天武天皇らが皇后や6皇子らと吉野へ行幸	678 唐は新羅の戦いを放棄
680	天武9	高麗・新羅への使者帰国	680 新羅 使者来日
681	天武10	7月 新羅に使者 新羅からの使者帰国 9月高麗・新羅への使者帰国	
684	天武13	4月 高向麻呂ら新羅に遣わす	684 高向麻呂ら新羅に遣わす
686	朱鳥1	9月 天武天皇が崩御，皇后が政治を執る	684 益山の報徳国滅し新羅統一
		10月 大津皇子が謀反の罪で自害させられる	
		11月に大来皇女が伊勢から退下	
688	持統	持統2 11月 天武天皇が檜隈大内陵に葬られる	
689	持統3	4月 草壁皇子が没する 2月に藤原不比等が判事	
690	持統4	1月 鸕野皇女が即位し持統天皇となる 7月高市皇子が太政大臣 9月 庚寅年籍	
692	持統6	新羅使訪日 新羅に遣わす	692 新羅使訪日 新羅に遣わす
694	持統8	5月 夏見廃寺建立？ 12月 藤原宮に遷都	
695	持統9	9月 新羅に小野毛野らを派遣	695 新羅に小野毛野らを派遣
696	持統10	7月 高市皇子が没	唐と渤海の戦争
697	文武	文武1 8月 持統天皇が譲位し、孫の軽皇子が文武天皇として即位	
698	文武2	☒0月 薬師寺が完成	698渤海国建国

701		大宝 1	3月 藤原不比等が正三位大納言 8月 大宝律令が完成	
701			12月 大来皇女が没	
702		大宝 2	12月 持統太上天皇が崩御	
707		慶雲 1	6月 文武天皇の崩御	
	元明	元明 1	7月 文武天皇の母の元明天皇即位	
708		和銅 1	藤原不比等 正二位 右大臣	
710		和銅 3	3月 平城京に遷都	
712		和銅 5	1月 太安万侶が「古事記」を完成	
713		和銅 6	5月 元明天皇が諸国に「風土記」の編集を命じる	
715	元正	霊龜 1	9月 元正天皇が即位	
718		養老 2	藤原不比等ら養老律令を編纂	
720		養老 4	5月 舎人親王ら「日本書紀」を完成 8月 藤原不比等が没 蝦夷反乱	
721		養老 5	長屋王右大臣 元明太上天皇の崩御 新羅使来朝するも元正太上天皇の崩御で帰国	721 新羅使来朝するも帰国 722 新羅 日本の侵入防止の城構築
723		養老 7	新羅使来朝	723 新羅使来朝 毛伐郡城
724	聖武	神龜 1	2月 聖武天皇が即位 遣新羅使（天皇即位報告）蝦夷反乱 陸奥国に多賀城を設置	
726		神龜 3	新羅使来朝	726 新羅使来朝
727		神龜 4	皇太子（基王）誕生 渤海使が初めて来日	727 渤海使節が神龜4年（727）
728		神龜 5	基王 没 渤海国へ使節団を送る	に到着して平城京に入る
729		天平 1	長屋王の変 自害	